

平成26年度 多治見土木事務所所長表彰優良施工業者に (有)福田塗装 が選ばれました!!

岐阜県多治見土木事務所

表彰の対象と
なった工事

工維第橋予ー7ー2他号

公共 橋りょう補修費(予備分)、道路災害防除施設費(交付金事業分)工事

- 工事場所** 主要地方道豊田多治見線他
多治見市笠原町他 地内
- 工期** 平成25年11月18日～平成26年3月20日
- 概要**
- 笠原向島歩道橋 塗装塗装補修工事
薄層舗装補修工事
 - 塗装面積 A = 449㎡、舗装面積 A = 50㎡
 - 清掃・素地調整工 3種ケレンC
下塗り 2回 弱溶剤形変性エポキシ塗料
中・上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料
はつり工・薄層カラー舗装
 - 仮設工 パイプ吊り足場、手摺先行型枠組み足場
シート張り防護1式



施行前

完成



表彰理由

当工事は、(主)豊田多治見線、(国)248号、(主)多治見恵那線の3路線に架かる、横断歩道橋3橋の塗装塗り替え工事である。3路線とも市街地で交通量が多く、家屋や施設が隣接しており、通学児童も通ることから、第三者に対して細心の注意が必要であった。また、施工期間が冬季となるため、品質確保に努めた工事である。

【塗膜厚の確認方法】

塗装の厚さを確認するには、規定された期間乾燥させてから電磁微厚計を用い測定する方法が一般的である。今回の工事では、乾燥後の塗膜厚を測るとともに、ウェットゲージを使用した塗装直後の厚さも測定した。このため、厚さ不足による塗り直しのリスクが減少し、工程の確保、品質と出来形の向上が出来た。

【塗料粘度の測定】

塗料の粘度が規定値でない場合、乾燥途中で垂れたり、乾燥後の表面がツブ状になったり、色やつやに影響を与えてしまう。そのため塗料の攪拌時、丸缶に移し替えて隅々までかき混ぜるとともに、粘度測定器を用いて定められた品質を確保した。

【塗装時の温度確認方法】

日常の管理として、塗装前の温度を測定し、下・中塗りは5℃、上塗りは0℃以上あることを確認してから塗装している。ただし、冬季は気温が上がっても鋼材自体の温度が低い場合があるため、赤外線温度計を使用して、鋼材自体の温度が5℃ないし0℃以上であることを確認してから施工した。これにより鋼面結露による白化現象を防止し品質を確保した。

【保護シート養生】

足場面のみにシートを張るだけでなく、足場下面にもシートを布設し、ケレン後の屑や塗料の飛散防止した。こうした取り組みが特に優れ、他の模範となるものである。

側面にもシートを布設し飛散防止した



足場面にもシートを布設し飛散防止した



鋼材温度の測定



塗料粘度の測定



丸缶に移し均一に混ぜる



ウェットゲージで塗装直後の膜厚測定



安全対策～凍結時転倒防止シート設置



安全対策～登下校時ガードマン配置



地域貢献～周辺環境美化



地域貢献～周辺環境美化

